無料 家づくり7つの必須要素がよくわかるレポートを差し上げます。

どんな住宅にも、この7つの要素をしっかりと取り入れる事で省エネ、エコだけではなく「家の長持ち」「家と住む人の健康」「快適で本当に心地良い家」づくりが可能になります。是非それを知って下さい。

お問い合わせは

鹿児島
TEL 0995-73-3023
FAX 0995-73-3024
Eメール info@solarhouse21.com

神奈川支店 〒210-0002
神奈川県川崎市川崎区榎町1-8 ニッコービル203
TEL 045-223-8105
FAX 045-223-8107
Eメール kanagawa@cmstyle.jp

又は巻末のハガキで

Hybrid e-house ハイブリッド・イーハウス

株式会社 ソーラーハウス21
本　社
〒899-4341
鹿児島県霧島市国分野口東6-11
MBC開発国分ビル4F

意匠デザイン（ソーラーハウス21）

デザインは「スマートデザイン」に徹する

家のデザインに「熱の動き」や空気の流れを考えていますか？

スマートとは賢いという意味で住宅も外観や内観だけでなく上記7つの要素をしっかり取り入れ、アクティブ・パッシブデザイン、温熱環境デザインもしっかり考える必要があります。

●アクティブ高効率エネルギーデザイン

●パッシブ自然エネルギー利用デザイン

●温熱環境デザイン
（空気の循環・熱の移動）

いい家をつくる為には7つの必須要素がある。

家づくり7つの必須要素

1 春・夏・秋・冬　快適で心地良い住宅
冬暖かく、夏涼しい、365日24時間"春心地"の輻射熱冷暖房の家

2 住む人の健康が増進される住宅
空気がきれいで結露によるカビやダニのない、シックハウスのない、温度差のない静かで寝心地のよい家

3 長持ちしてメンテがしやすく愛着の持てる住宅
壁体内に結露を起こさない、構造材の腐食を防止して白アリのつかない、資産価値の高い安全な家

4 自然エネルギーを利用したエネルギー自給住宅
再生可能エネルギーを作って貯めて消費量が見える家

5 エネルギーロスの少ない高性能で効率のいい住宅
光熱費ゼロは当然の高気密、高断熱、高い省エネ効果で高効率な家

6 エネルギーの自立とエネルギー消費の削減を基本にCO2ゼロを目指す住宅
特に蒸暑地域の暑さと湿気をテーマにエネルギー削減を目指す「ゼロエネルギーの低炭素住宅」

7 スマートデザイン（意匠・エネルギー・温熱環境等）をしっかりと考えた住宅
アクティブ・パッシブエネルギーその他を効率よく融合させた外観も美しい家

自然エネルギーを活用し、健康で快適な空間の性能を向上させつつ、エネルギー消費量を最小限に保ち、セルフエナジーで自立循環型の住宅を目指し、約8年前よりそれを現実にしています。それが「**ハイブリッド eハウス**」です。ゼロエネルギー住宅、低炭素住宅は当然の事で、私達のおすすめする住宅は温熱環境デザインにはエアコンを極力使わない低消費エネルギーの"空気や不凍液"を利用した**「365日24時間春心地の輻射熱による暖冷房の家」**です。

詳しくはこのホームページをご覧ください。ソーラーハウス21の家づくりが見えます。

http://h-ehouse.com

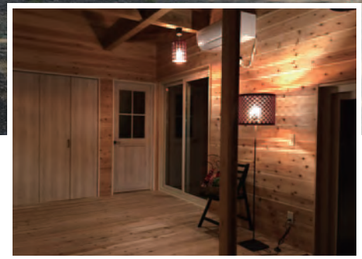
Hybrid e-house ハイブリッド・イーハウス

ハイブリッド eハウス by SOLAR HOUSE 21

国の補助金を利用した「ゼロエネルギーハウス」をお考えなら「ソーラーハウス21」へご相談下さい。

●現在鹿児島市に「ゼロエネルギーハウス」2棟建築中!

まだ未完成ですがロックガーデンも見せ場です。



室内の杉材は屋久島および鹿児島産材です。

お風呂からは裏庭に出ることができます。

国の森林環境税を利用した「木のあふれる街づくり事業」でつくった「楽水舎」がソーラーハウス21の施工で完成。**雨の多い、湿度の高い地域でいかに快適で健康によい住宅をつくるか**は、ソーラーハウス21のつくるブランド**「ハイブリッドeハウス」のコンセプト**のひとつです。また、**環境に配慮**し、**地産地消**も考えた**エコ住宅**でもあります。正に鹿児島など東京以西の蒸所地域で家づくりをお考えの方にピッタリのコンセプトを持つ住宅です。

(社)セルフエナジーハウス研究会では、H26年度森林環境税関係事業（木のあふれる街づくり事業）屋久島「楽水舎」の建築を申請し採択され、平成27年に(株)ソーラーハウス21にて工事を進めて参りました。このたび完成し披露出来る運びになりましたのでその概要と目的について記したいと思います。

楽水舎の目的

東京以西の高温多湿の地域においては、**現在の気密化の進んだ住宅をいかに多雨、多湿に適応させるか**が非常に大きなテーマです。
今回の屋久島「楽水舎」建設の計画は、大阪の建築設計事務所・アーキアンドリフォルム代表の北田壮介氏が所有する屋久島の土地に高温・多雨・多湿な地域でのエネルギー高効率建築の建築・設計ノウハウを盛り込んで、北田氏と共に(社)セルフエナジーハウス研究会（代表:上野勝）が共同で、平成26年度森林環境税の補助金を利用して、施工を(株)ソーラーハウス21で行ったものです。
単なるデータ収集のためだけの実験棟ではなく、**環境共生デザインや2020年の改正省エネ基準をしのぐ性能を取り入れ実際に居住できる環境を整え**、短・中期の滞在により、実際に使用するエネルギー量を測定することや室内環境を体験できるようにしているので、是非ご利用いただきたいと思います。体感した感想をいただける方は、超格安にて御利用できますので、担当:上野までお申し込み下さい。屋久島の雨が多く高温多湿という厳しい環境下でも常に快適で健康的な室内環境を多くの人に体験して頂くことを目的の一つにしております。
さらに、地産地消という考えから、構造躯体をはじめとする建材のほとんどを屋久島産杉(屋久杉ではなく屋久島の人工林で育成された杉)及び鹿児島県産材を使い、耐候性・耐久性・経年変化などを調査することも目的のひとつです。

楽水舎の概要

「身近にある安全でクリーンなエネルギーを取り入れて、自分で使うエネルギーは自分で作る」をコンセプトにした「ハイブリッドeハウス」がベースになっています。「ハイブリッドeハウス」は(株)ソーラーハウス21が施工している建物のブランドで、**アクティブとパッシブの融合**が語源になっています。現在でも「ハイブリッドeハウス」は全ての建物がゼロエネルギーハウスで且つ快適性と健康に気を使った世界の標準住宅と言われるものです。
また、住宅に求められる基本条件、すなわち性能ばかりではなく、機能やデザインが良いこと、そしてそのバランスが保たれている事をクリアしているのは勿論ですが、自然エネルギーを取り入れる事や無駄にしない事の他にも、風の流れや日射を考慮したデザイン、そして室内空間を快適にするレイアウトを作り上げるために最適な機材・機器類などを総合的に研究し、時間をかけてバランスよく組み立てており、**少ないエネルギーでも快適に暮らせる、燃費の良い家が「ハイブリッドeハウス」です**。楽水舎もその必須条件になる断熱材には、**吸放湿性に優れ、熱容量が大きいアップルゲートのセルロース断熱材**を、**計画換気には床下にも湿気を留めず、熱交換のみならず湿度の交換まで行うマーベックス社の計画換気**を、また、**熱損失の激しい窓にはLIXILの高性能樹脂サッシ**を使用しています。また、屋根下地は通気を取りながらほぼ完全な熱の遮断をする対策も施されています。また、**外壁材は杉の角材で通気を良くした、いわゆる「すのこ張り」**で、その下地には非常に防水性に富みJIS防水試験の4.7倍以上の数値を達成したドイツ製のものを使用し、アップルゲートのセルロース材と同じく高い透湿性がありますので、壁内結露を防ぐことができ、建物の寿命をも延ばすことでしょう。また、**防蟻処理には人畜無害で半永久的な効果のある「ホウ酸」を使用**しています。